

岐阜梱包 安全会議で

前向きな変化を実感

【岐阜】岐阜梱包（堀部友里社長、揖斐郡大野町）では年末の安全会議において年頭に掲げたテーマに沿った反省会を行うことで、社内意識の向上促進へとつなげている。

会合内では前半で事故防止における情報共有を行い、後半では従業員らが「今年の漢字」と自身の振り返りを発表。漢字部門においては「以前に比べて前向きな発想が目立ってきた」と堀部社長が語る通り、感謝の「謝」や楽しいの「楽」といった一年の充実ぶりをうかがわせる

なる準備の最終段階を迎えるにあたって、いよいよ具体的な取り組みを推進していく構えだ。

堀部社長はそんな動きに手応えをのぞかせて今後におけるいっそうの社内環境向上に言及。全員参加による年間テーマの実現に意欲を示しつつ荷物や人における交流の回復や安全運行に努めた昨年に感謝の思いを寄せながら、新たな一年に臨んでいく。

（朝妻聖一）



堀部社長